SDGs エスディージーズ

で探究する（たんきゅう）
世界遺産 平泉（せかいいさん ひらいずみ）

ひらいずみちょうきょういくりょこう
平泉町教育旅行ワークブック

1 貧困をなくそう
2 飢餓をゼロに
3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに
5 ジェンダー平等を実現しよう
6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8 働きがいも経済成長も
9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを
12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を
14 海の豊かさを守ろう
15 陸の豊かさも守ろう
16 平和と公正をすべての人に
17 パートナーシップで目標を達成しよう

きよひらくん

岩手県平泉町

持続可能な世界をつくるためのミッション「SDGs」

2030年。みなさんが大人になる頃には、どんな社会になっていたらいいと思いますか。

今、私たちの世界は、紛争や感染症、貧困、気候変動、資源不足など、非常に多くの課題を抱えています。それらの課題を解決するために定められた17の目標がSDGsです。

この本では、戦争のない平和な世界を求めた「世界遺産 平泉」について知り、SDGsとの比較や検証を行うことで、SDGsを身近に感じながら理解を広げることを目的としています。

SDGsとは？

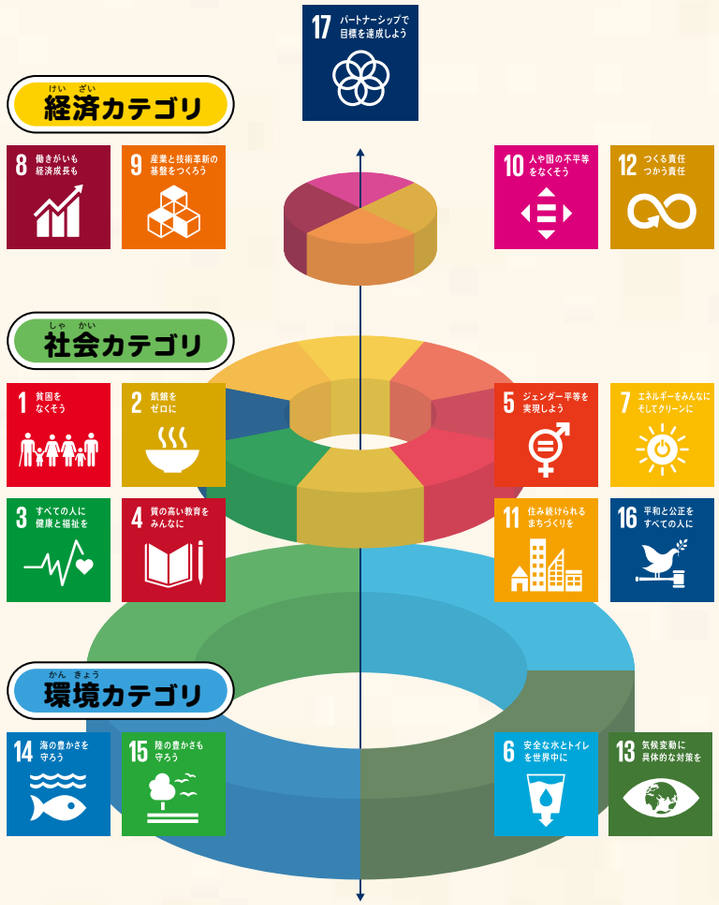
世界中の人たちが話し合い、2030年までに達成するべきだと決めた17の目標が「SDGs（Sustainable Development Goals＝持続可能な開発目標）」です。国際機関、政府、企業、学術機関、市民社会、そして子どもも含めた全ての人が、それぞれの立場から目標達成について考え、行動することが求められています。

みなさん一人ひとりが「未来を変える力」を持っています。みんなが幸せに暮らせる未来、持続可能な世界を築いていくためには、一人ひとりの行動が大切です。

2030年の主役はみなさんです！

SDGsの目標をカテゴリ分けしよう

下の図は17の目標をウェディングケーキ型に並べたものです。「経済」は生活や教育などの「社会」に支えられ、「社会」は生物や自然などの「環境」によって支えられていることを示しています。



目標17
全世界の全ての人々が手を携えることで、持続可能な社会を作り上げていきます。

経済カテゴリ
人々の働きやすさ、人や国への差別や偏見がなくなることが、国や世界の経済発展につながります。

社会カテゴリ
健康問題や差別・偏見からの解放、教育環境を整えることが、人間が不自由なく生活し、働ける社会を実現します。

環境カテゴリ
自然環境の保全や気候変動への対策が、人間が地球上で暮らす上で不可欠です。

※SDGsウェディングケーキモデルは、スウェーデンのストックホルム・レジリエンス・センターによって考案された構造モデルです。

本書の流れ：SDGsの学び方

この本では、世界遺産平泉について「経済」「社会」「環境」のカテゴリごとに探究テーマを設けます。テーマの解説から探究のヒントを得た上で、ステップ1～4の学習を進めていきます。

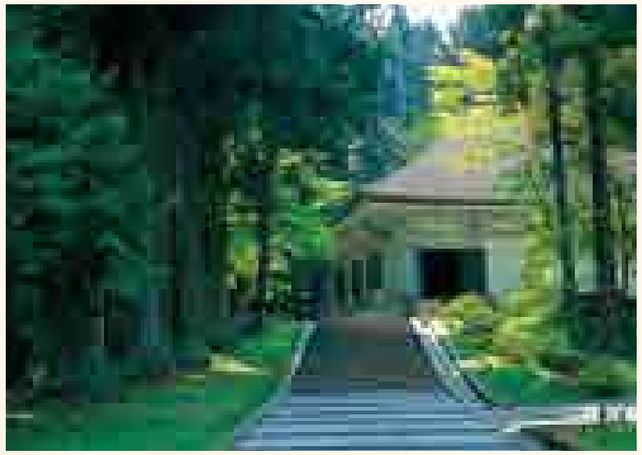
- ステップ1 事前学習
- ステップ2 現地学習
- ステップ3 まとめ学習
- ステップ4 発展

世界遺産 平泉とSDGs

「平泉の文化遺産」は2011年6月に世界遺産に登録されました。評価されたのは、「戦争のない理想郷を目指した黄金文化」や、自然と融合しながら「周辺の環境に配慮したまちづくり」です。SDGsにも平和や自然環境、まちづくりの目標がありますね。平泉の歴史と文化を学び、SDGsについて考えてみましょう。

浄土思想が花開いた地

今からおよそ900年前、奥州藤原氏によって平泉のまちが誕生しました。平泉では「浄土思想」に基づいて、寺院や庭園などが造られています。浄土とは仏様がいる場所のこと。平泉では仏教の教えに基づき、戦争のない平和な理想郷を目指したまちづくりが行われたのです。



平泉って どんなところ?

岩手県の南に位置する平泉町。中尊寺金色堂や毛越寺が有名な世界遺産の町です。現在も遺跡の発掘調査が進められており、文化遺産を守り生かすまちづくりに取り組んでいます。

平泉町のSDGs探究テーマ

探究テーマ①
〈社会〉
浄土思想

8ページ
世界遺産に指定された5つの史跡から、平泉文化の「浄土思想」について探究します。

探究テーマ②
〈社会〉
国宝と文化財

10ページ
国宝第1号が平泉にあるって本当？文化財に込められた平和への願いを探究します。

探究テーマ③
〈社会〉
歴史と人物

12ページ
平泉にまつわる戦乱の歴史と、平泉の歴史を彩る人物たちについて探究します。

探究テーマ④
〈環境〉
地形と自然

14ページ
自然と融合したまちづくりが行われた平泉の地理や自然、産業について探究します。

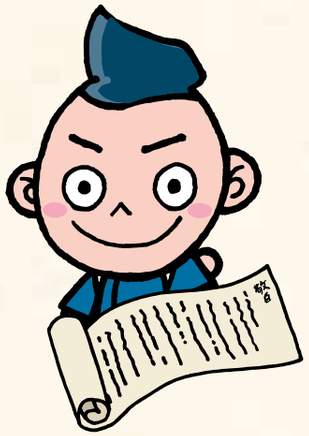
探究テーマ⑤
〈経済〉
観光産業

16ページ
世界遺産のまち平泉の多様な仕事で人材が活躍する観光産業について探究します。

探究テーマ⑥
〈経済〉
農業と食

18ページ
平泉町の農業と食について、特産品のブランディングや伝統と文化について探究します。

ステップ1 事前学習



5ページの「平泉町のSDGs探究テーマ」から、平泉町で知りたいこと、調べてみたいことを選んでみましょう。事前の調べ学習や、他の人の意見なども聞きながら、興味の幅を広げましょう。

知る、見つける

5ページの「平泉町のSDGs探究テーマ」から、自分が興味を持って知りたい、調べてみたいと思う探究テーマを選んでみよう。

探究テーマ

イメージする

上で選んだ探究テーマについて、イメージすることや知っていることがあれば書いてみよう。

調べる

探究テーマに関することを、図書館の本やインターネットで調べてみよう。気になることや、現地で見てみたいこと、面白いと思ったことを書いておこう。

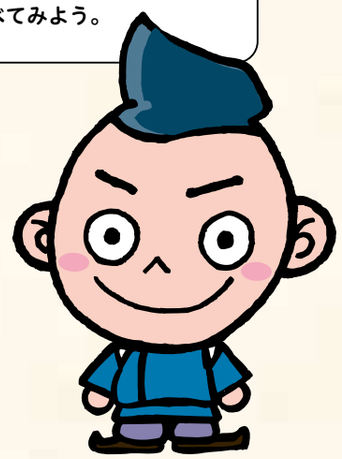
伝える

クラスや班などのグループで、自分が選んだ探究テーマについて、選んだ理由や興味を持ったところについて伝え合おう。

探究テーマ①
社会

浄土思想

平泉の文化遺産は「平泉－仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群－」として世界遺産に登録されました。平泉の浄土思想とは何か、調べてみましょう。



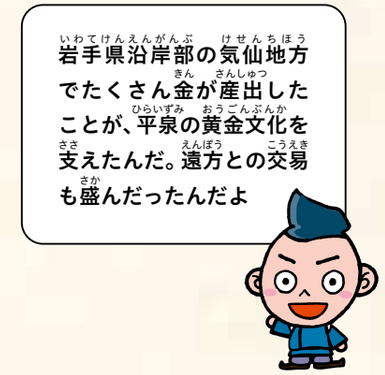
◉ 初代清衡が願った仏国土

奥州藤原氏の初代清衡公が平泉にまず始めに建立したのが中尊寺です。清衡は中尊寺を建立するときに、戦争で命を落とした敵味方すべての霊をなぐさめ、仏国土（仏教の教えによる平和な理想社会）を実現することを願いました。1124年に完成した中尊寺金色堂は1951年（昭和26年）、日本の国宝建造物第1号に指定されています。

◉ 二代基衡が築いた毛越寺浄土庭園

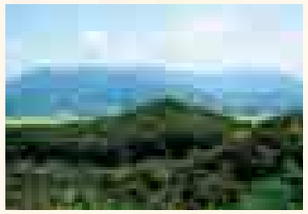
浄土思想とは仏教の長い歴史の中で生まれた思想です。悩みも苦しみもなく、あらゆる仏様が住む清らかな国土が「浄土（仏国土）」だと考えられました。自然景観を取り入れた日本独自のものへと変化していきます。毛越寺の浄土庭園は、海や山の景色などの自然美を取り入れ自然と共生する、最も完全な平安浄土庭園と言われています。

浄土庭園の大泉が池の石や岩は、三陸海岸からはるばる運ばれて来ました。



◉ どうして金色堂が造られたの？

お堂全体に金箔が使われ「皆金色」と言われる中尊寺金色堂。阿弥陀如来を本尊に祀り、金箔のほかにも金粉を使った「蒔絵」、夜光貝を使った「螺鈿」、宝石や象牙、ガラスなどを散りばめ、光り輝くお堂で極楽浄土を表現しています。仏像の台座の中には、藤原四代のご遺体がいまも安置されています。

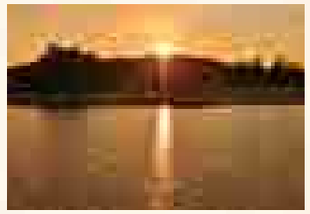


金鶏山

中尊寺と毛越寺の中間にあり、藤原氏がお経を入れた壺を埋めて経塚を造った信仰の山です。

観自在王院跡

大小二つの阿弥陀堂跡が残る浄土庭園。二代基衡公の妻によって造営された寺院跡です。



無量光院跡

京都宇治の平等院鳳凰堂を模して三代秀衡公によって建立された寺院跡。浄土庭園の傑作と言われています。

関連するSDGsのゴール

[探究キーワード]

中尊寺金色堂、毛越寺浄土庭園、金鶏山、観自在王院跡、無量光院跡、気仙地方の金

探究テーマ②
社会

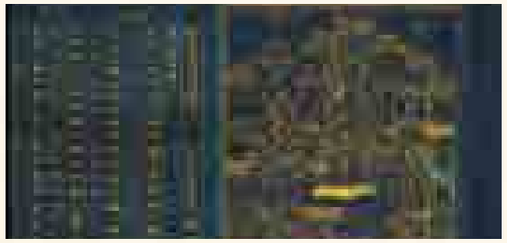
国宝と文化財

平泉の文化財には、争いのない平和な世の中への願いや、浄土思想を表すものが数多くあります。国宝や文化財について調べてみましょう。

◉ 最高峰の技術で表した浄土への願い

国宝である「金銅華鬘」はかつては金色堂内部に飾られていました。同じく国宝の「紺紙金銀字交書一切経」や「金光明最勝王経金字宝塔曼荼羅図」など、数多くの経文や仏像、仏具などが、当時の最先端の技術で金や銀などの貴重な素材をふんだんに使いながら作られました。

金銅華鬘



紺紙金銀字交書一切経

どうして金や銀でお経を書いたりしたのかな？　当時の人の気持ちになって考えてみよう。

◉ 敵味方なく全ての魂を慰める

中尊寺建立の趣旨が書かれた「供養願文」には「戦争で亡くなった全てのものを、敵味方の区別なく、極楽浄土へ導きたい」という一文があります。清衡公が望んだ平和と浄土への強い思いは、中尊寺の建立後も二代基衡公らへと受け継がれていきました。

人も動物も植物も成仏できると説く仏教の教えが中尊寺などの建立に生かされているよ。

◉ 有形・無形の文化財

讃衡蔵

国宝「金銅華鬘」や中尊寺経など、奥州藤原氏の残した文化財3,000点あまりを収蔵する宝物館が讃衡蔵です。中尊寺金色堂堂内具や、奥州藤原氏のご遺体の副葬品もここで見ることができます。

毛越寺の延年【重要無形民俗文化財】

毛越寺が造られて以来800年以上ものあいだ継承されてきた延年の舞は、国の重要無形民俗文化財です。毎年正月20日の「二十日夜祭」で奉納されます。

曲水の宴

毎年5月に催される「曲水の宴」。毛越寺浄土庭園の大泉が池に注ぐ遣水に盃を浮かべ、装束に身を包んだ人たちが流れに合わせて和歌を詠む、平安時代の優雅な歌遊びです。

関連するSDGsのゴール

[探究キーワード]

国宝、極楽浄土、供養願文、金銅華鬘、紺紙金銀字交書一切経、重要無形民俗文化財

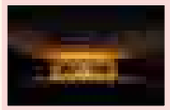
探究テーマ③
社会

歴史と人物

戦乱の世を経て、奥州藤原氏は平和を願う平泉のまちづくりを行いました。平泉の歴史と平泉にゆかりのある歴史的な人物について調べてみましょう。

平安時代の奥州のおもな出来事

1051年		前九年合戦
1083年		後三年合戦
1089年	清衡	藤原清衡が陸奥押領使となる
1105年	清衡	中尊寺の造営に着手
1146年頃	基衡	西行が平泉を訪れる
1174年	秀衡	源義経、平泉に着く
1180年	秀衡	義経、鎌倉へ向かう
1187年	泰衡	義経主従、平泉に入る
1189年	泰衡	義経が自害 泰衡死没により奥州藤原氏が滅亡


中尊寺金色堂

柳之御所遺跡

毛越寺

観自在王院跡

無量光院跡

たび重なる戦乱の果てに…

平泉以前の東北では、安倍頼時ら安倍氏の一族が力を持っていました。そこに朝廷から陸奥守・源頼義が遣わされ、安倍氏との10年以上に及ぶ長い戦争が始まります。この戦争を前九年合戦といいます。

戦いの末に安倍氏は滅亡し、安倍頼時の娘は戦死した夫・藤原経清との間に生まれた7歳の息子を連れて、秋田の豪族・清原氏に嫁ぎました。その子がのちの藤原清衡です。

前九年合戦から20年後、清原氏の跡目争いから発展した戦争が後三年合戦です。清衡はその合戦に勝利した後、平泉に居を移して藤原清衡を名乗ります。ここから平泉の黄金文化が始まるのです。

奥州藤原氏

初代清衡
100年にわたる奥州平泉を拓いた初代当主であり、安倍氏の血も引く。藤原鎌足で知られる氏族、「藤原氏」と同一であると言われています。

二代基衡
清衡の浄土思想を受け継ぎ、毛越寺浄土庭園を造営。妻は観自在王院を建てたと言われています。

三代秀衡
陸奥守として名実共に奥州を治めた秀衡。源義経を奥州に迎え入れたことでも知られています。無量光院を建立しました。

四代泰衡
秀衡の後を継いだ泰衡。義経の死後、平泉は源頼朝軍に攻め込まれ奥州藤原氏は滅亡しました。

初代清衡

二代基衡

三代秀衡

みなもとのよしつね

源義経

幼名牛若丸として知られる源義経。元服後は奥州藤原氏を頼って平泉で過ごしました。源平合戦後は兄の源頼朝から追われる身となり、平泉の高館で自害したと伝わっています。

西行

小倉百人一首にも名を連ねる平安時代末期の名歌人。西行は二度も平泉を訪れており、衣川や桜の名所であった束稲山の歌を残しました。

きくもせず たばしねやまのさくら花
よしののほかに かかるべしとは

西行法師歌碑

松尾芭蕉

紀行文「おくのほそ道」で知られる江戸前期の俳人。各地の歌枕をたずねて江戸からみちのくを巡りました。平泉で詠まれたものでは、次の俳句が知られています。

夏草や兵どもが夢の跡
五月雨の降のこしてや光堂

松尾芭蕉像

関連するSDGsのゴール

[探究キーワード]
前九年合戦、安倍一族、奥州藤原氏、源義経、西行、松尾芭蕉

探究テーマ④
環境

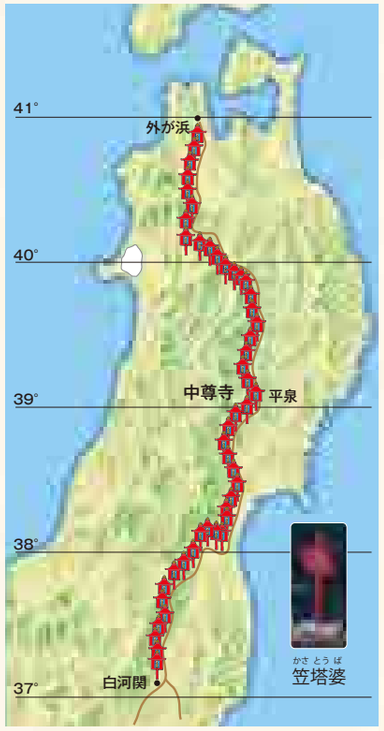
地形と自然

平泉が世界遺産に登録されるときに高く評価されたのが、日本の伝統的な考え方である「自然との融合」という点です。平泉の地形や自然について調べてみましょう。

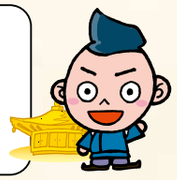
金鶏山を中心にしたまちづくり

奥州藤原氏は、金鶏山を信仰の山としてまちづくりの基準にしました。山頂には藤原氏が築いた経塚があります。金鶏山を中心に、中尊寺や毛越寺、無量光院などの寺院が建てられ、平泉のまちが発展していきました。

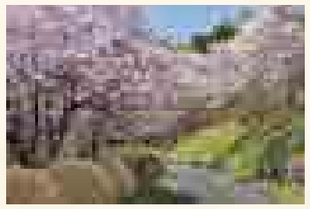
また、奥州藤原氏が治めた土地は、南は福島県白河関から北は青森県外が浜に及びました。平泉はそのちょうど中心に位置していたのです。



北から南まで、笠塔婆を1町(109m)に1本ずつ、合計約5,000本を立てて、中心を測り、中尊寺を建てたんだよ。



自然を大切にした藤原氏

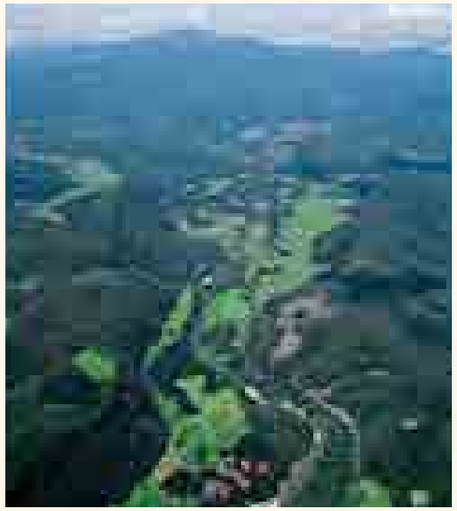


浄土の理想郷を追い求めた平泉では、中心部の寺院建造だけではなく、周囲の山々なども含めたまちづくりが行われました。周辺の山には経塚が造られ、植林も行われました。北上川対岸の束稲山には桜が植えられ、奈良の吉野山にも勝るとも劣らないほどの桜の名所だったと伝わっています。

束稲山には現在も「西行桜の森」があり、桜の名所になっているよ。

平泉の地形

初代清衡公が江刺(現在の奥州市)から平泉に本拠を移したことから、平泉のまちづくりは始まります。平泉は南北に東北一の大河である北上川が流れ、鎌倉から陸奥を結ぶ奥大道が通る交通の要所でした。北上川東岸には北上川の恵がもたらす大穀倉地帯が広がっており、肥沃で豊かな土地であったことが分かっています。



骨寺村荘園遺跡

骨寺村荘園遺跡

中世から続く農村風景が今に残るのが、一関市本寺にある「骨寺村荘園遺跡」です。中尊寺に所蔵されている絵図と、ほぼ変わらない風景が見られる大変貴重な場所です。

関連するSDGsのゴール

[探究キーワード]
自然との融合、金鶏山、北上川、奥大道、骨寺村荘園遺跡

探究テーマ⑤
経済

観光産業

たくさんの観光客が訪れる世界遺産のまち平泉。観光産業が生み出す雇用や、歴史文化と伝統的な暮らしの関係について考えてみましょう。

世界遺産「平泉」で働く人たち

平泉町には毎年たくさんの観光客が訪れます。世界遺産のことを紹介するガイダンス施設や、地元の飲食店や土産店、バスやタクシーのような公共交通など、観光産業に関わる人たちが数多く働いています。平泉の歴史や文化的価値は観光産業や雇用を生み、地域の経済と関わっています。

平泉世界遺産ガイダンスセンター

バスなどの公共交通を使うと、自家用車に比べて二酸化炭素排出量が減るからエコにもつながるね！

様々な産業が生み出す人材の多様性

世界中から観光客が訪れる平泉町では、歴史的知識を生かした観光ガイドや、外国語能力や異文化理解の力を生かしたインバウンド向けの仕事などが求められます。産業の多様化によって、若い人たちが地元で働ける場や能力を生かせる場が生まれ、人材育成の幅も広がります。

伝統的暮らしと観光の魅力

観光客にも人気の伝統芸能や地元の祭りには、平泉の文化や昔ながらの暮らし、人々の願いなどが込められています。古くから受け継がれてきた地元愛や文化的ルーツを大切にする心が、観光で訪れた人たちにとって魅力的に映るのです。

春の藤原まつり

伝統工芸品「秀衡塗」

平泉町の伝統的な工芸品のひとつに「秀衡塗」があります。その名の通り、三代秀衡公が京から職人を呼び寄せて、平泉の周辺で採れた金箔や漆を使った器を作らせたのが秀衡塗のはじまりと言われています。

金色堂にも使われる岩手の漆は「サステナブルな自然素材」と言われ、環境に優しいことなどから注目されているよ！

関連するSDGsのゴール

[探究キーワード]
世界遺産のまち、公共交通、人材育成、伝統芸能・祭り、秀衡塗

探究テーマ⑥
経済

農業と食

平泉町の基幹産業のひとつ、農業。農産物を観光客にPRする取り組みや農業から生まれる地域ならではの景観、文化について考えてみましょう。

平泉町の農産物とブランディング（※）

平泉町の基幹産業は観光業と農業です。米づくりを中心に、りんごやぶどうなどの果実、野菜などが幅広く生産されているほか、酪農も行われています。これらの農畜産物に平泉町ならではのブランド価値を加えて、町を訪れる観光客にPRする取り組みが行われています。

※商品等のイメージアップを図ること

大文字りんご

黄金メロン

「大文字」や「黄金」は、平泉町のどんな歴史や文化をイメージさせる言葉なのか考えてみよう！

道の駅平泉の産直施設

「道の駅平泉」に集まる特産品

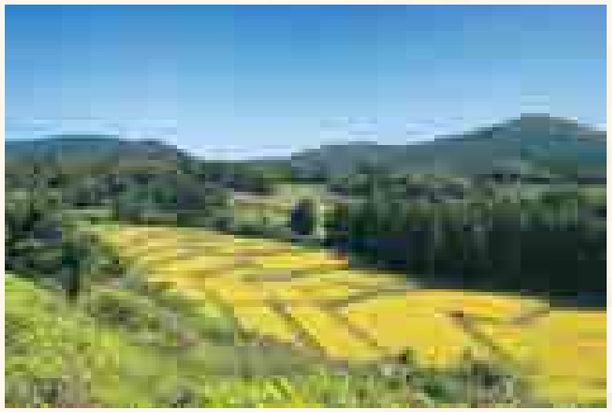
「道の駅平泉」には、平泉町の特産品が食べられるレストランや採れたての農産物を販売する産直があります。「道の駅平泉」は、平泉世界遺産ガイダンスセンターや柳之御所遺跡の近くにあり、観光客が立ち寄って休憩したり観光情報を集めたりできる便利な場所です。

観光拠点に特産品が集まる仕組みなんだね！

束稲山の伝統的農業

束稲山の山麓地域には、洪水や干ばつなど自然災害のリスクに負けないための、土地利用に工夫をこらした歴史的な農業システムがあります。このような農業の文化的価値を明らかにする取り組みや、農業が生み出すランドスケープ（※）そのものが観光資源にもなるのです。

※その土地の環境や歴史から生まれる景観



束稲山の農業的景観

世界に名だたる「餅食文化」

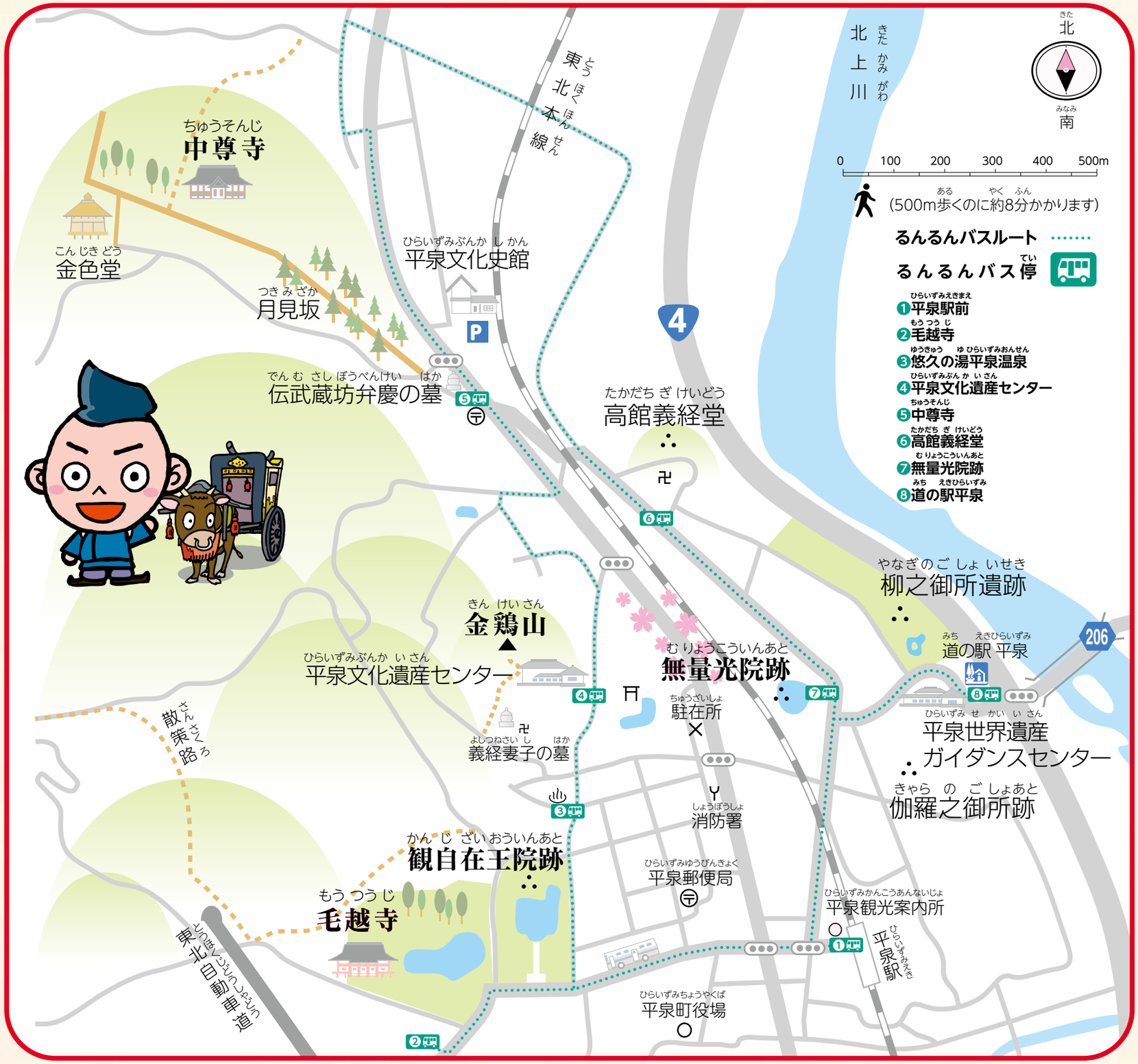
昔から米づくりが盛んだった平泉町や一関市などには、伝統的な「餅食文化」があります。一口サイズの餅を色々な味付けで食べる「餅本膳」が有名です。2012年にユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」の中でも、地域の特色ある食文化として餅食文化が紹介されています。

どんな味付けがあるのかな？

関連するSDGsのゴール

［探究キーワード］

ブランディング、特産品、道の駅平泉、束稲山、餅食文化



平泉町 探究マップ

見学ルートを計画しよう

出発　　時刻　　：

行先

時間　　：　　～　　：

徒歩　　分

行先

時間　　：　　～　　：

徒歩　　分

行先

時間　　：　　～　　：

徒歩　　分

行先

時間　　：　　～　　：

徒歩　　分

行先

時間　　：　　～　　：

徒歩　　分

集合　　時刻　　：

ステップ2 現地学習

20ページの「探究マップ」や、24ページからの「スポット案内」を参考にしながら、平泉の町を歩いてみましょう。

自分の探究テーマについて、見つけたもの・こと、体験したもの・こと、地元の人から話を聞いたことなどをメモしておきましょう。どんな風に感じたか、感想も書いておきましょう。

見つけたもの・こと

体験したもの・こと

地元の人から話を聞いたこと

自分の探究テーマ以外にも、平泉町で発見したこと、面白かったこと、疑問に思ったことなどをメモしておきましょう。

発見したこと

面白かったこと

疑問に思ったこと

平泉町で見つけたこと、感じたことが、どんなSDGsの目標に当てはまるかも考えてみよう！

平泉探究スポット案内

平泉のまちをめぐって、探究テーマについて調べてみよう！

中尊寺

世界遺産 経済 社会 環境

山全体がひとつの寺院である中尊寺。ふもとから参道の月見坂を20分ほど登り、本堂や金色堂を目指します。国宝の金色堂をはじめ、重要文化財の金色堂覆堂、経蔵のほか3,000点以上の国宝や重要文化財が現存しています。

電話／0191-46-2211
時間／8:30～17:00（冬期8:30～16:30）　休業／無休
拝観料／大人800円、高校生500円、中学生300円、小学生200円

毛越寺

世界遺産 経済 社会 環境

浄土庭園が特別名勝に指定されている毛越寺。当時の建物は全て火事などで失われましたが、復元整備された「大泉が池」から当時の様子を知ることができます。初夏のあやめ、秋の萩や紅葉など自然の美しさも見どころのひとつです。

電話／0191-46-2331
時間／8:30～17:00（冬期8:30～16:30）　休業／無休
拝観料／大人700円、高校生400円、小中学生200円

観自在王院跡

世界遺産 経済 社会 環境

毛越寺の隣に位置する庭園で、「舞鶴が池」を中心に大阿弥陀堂跡や小阿弥陀堂跡の遺跡を見ることができます。史跡公園として開放されており、憩いの場になっています。

電話／0191-46-4012（平泉文化遺産センター）
常時無料開放

無量光院跡

世界遺産 経済 社会 環境

京都の宇治にある平等院鳳凰堂を模して建てられた寺院跡です。春分と秋分の日近くの年2回、寺院跡の真後ろに位置する金鶏山に夕日が沈むように設計されたことが分かっています。

電話／0191-46-4012（平泉文化遺産センター）
常時無料開放

金鶏山

世界遺産 経済 社会 環境

中尊寺と毛越寺のほぼ中間にある小高い山で、平泉を守るために黄金の鶏を埋めたという伝説が残っています。秀衡が一晩で築いた人工の山という説もある不思議な場所です。

電話／0191-46-4012（平泉文化遺産センター）
常時無料開放

達谷窟

経済 社会 環境

坂上田村麻呂が蝦夷征伐の際、仏の加護に感謝して建てたと伝わる毘沙門堂。

電話／0191-46-4931　時間／8:00～17:00(季節により変動あり ～16:30)　休業／無休
料金／大人500円、中高生100円、小学生以下無料
(修学旅行等の場合は100円)

柳之御所遺跡

経済 社会 環境

昭和63年に大規模な調査を開始した遺跡。平泉館（政庁)だったと考えられています。

電話／0191-34-7377
(岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンター)
常時無料開放

平泉文化遺産センター

経済 社会 環境

奥州藤原氏の歴史や平泉の文化遺産についてパネルや映像で紹介するガイダンス施設。

電話／0191-46-4012
時間／9:00～17:00(16:30までに入館)
休館／年末年始(12/29～1/3)、展示替期間(不定)
料金／無料

岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンター

経済 社会 環境

柳之御所遺跡に隣接するガイダンス施設。ワイドスクリーン映像や出土資料などを展示しています。

電話／0191-34-7377
時間／9:00～17:00(11月～3月9:00～16:30)
最終入館は各閉館時間の30分前
休館／毎月末日(土日祝日の場合は前日)、年末年始、資料整理日
料金／無料

高館義経堂

経済 社会 環境

兄の源頼朝に追われて平泉に逃れた源義経が、最後にたどり着いて自害したと伝わる場所。

電話／0191-46-3300
時間／夏期8:30～16:30、冬期8:30～16:00
休業／11/21～3/14
料金／大人、高校生300円、小中学生100円

白鳥舘遺跡

経済 社会 環境

清衡のおじ、白鳥八郎則任の居城跡と伝わる遺跡。北上川に周囲を囲まれた天然の要塞。

電話／0197-56-2111
(奥州市前沢総合支所)
常時無料開放

骨寺村荘園遺跡

経済 社会 環境

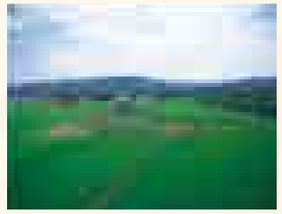
中世の「陸奥国骨寺村絵図」とほぼ同じ景観を今に伝える、中尊寺ゆかりの荘園遺跡。

電話／0191-25-6595
(一関市教育委員会文化振興課)
常時無料開放

長者ヶ原廃寺跡

経済 社会 環境

奥州藤原氏の時代より少し前の寺院跡。安倍氏によって建立されたと考えられています。

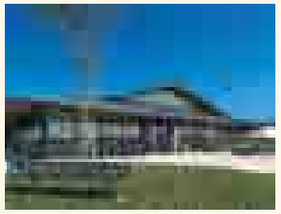


電話／0197-35-2111
(奥州市教育委員会事務局歴史遺産課)
常時無料開放

道の駅平泉

経済 社会 環境

平泉町産の食材を使ったレストランや、特産品の産直コーナーがある道の駅。



電話／0191-48-4795
時間／レストラン11:00～18:00、農産物直売所9:00～18:00(冬期は～17:00)
休業／無休

平泉文化史館

経済 社会 環境

毛越寺や中尊寺二階大堂の復元模型などを展示、平泉の歴史や文化を伝える施設。

電話／0191-46-2011
時間／9:00～16:00
休業／12月～3月不定休
料金／大人310円、高校生150円、小中学生100円

平泉体験プログラム

坐禅体験

経済 社会

奥州藤原文化が息づく平泉で、悩みや欲、迷いなどから離れて心を落ち着かせ、自分自身を見直すことができるのが坐禅体験です。

■中尊寺
[受付]1～120名　[所要]60分
[志納金]大人1,000円、高校生以下300円
※学生は10名以下1組3,000円
[要予約]0191-46-2211

■毛越寺
[受付]10～80名　[所要]60分
[志納金]大人500円、高校生以下300円　[要予約]0191-46-2331

写経体験

経済 社会

お経を書き写すことで仏様の教えを学ぶ修行が写経です。平安時代からの歴史文化が息づく平泉で、自分の内面と向き合ってみませんか。

■中尊寺
[受付]1～120名　[所要]90分
[志納金]1人1,000円　[要予約]0191-46-2211

■毛越寺
[受付]10～30名　[所要]90分
[志納金]1人1,000円　[要予約]0191-46-2331

法話体験

経済 社会

仏教の教えや歴史に関するお話を聞いて、心穏やかなひとときを過ごしましょう。

■中尊寺　[受付]10～120名　[所要]30分
[志納金]1団体5,000円
[要予約]0191-46-2211

■毛越寺　[受付]10～200名　[所要]応相談
[志納金]1団体5,000円
[要予約]0191-46-2331

うるし塗り体験

経済 社会

藤原氏ゆかりの伝統工芸「秀衡塗」。うるしを使って日用品に絵付けをしてみませんか。

■うるし塗り体験工房Kuras　翁知屋
[受付]1～50名　[所要]60～90分
[料金]スプーン1個4,400円、コースター1個5,500円
他メニュー有り
[要予約]0191-46-2306

農村生活体験

経済 社会 環境

田植えや野菜の収穫など、農家の生活を体験することで心の豊かさを育みます。

平泉町グリーン・ツーリズム推進協議会事務局
(平泉町役場農林振興課内)
[受付]20～40名
[所要]5時間(日帰り、昼食付)、1泊2日(食事3食、おやつ付)
[料金]日帰り6,000円、1泊2日10,000円
[要予約]0191-46-5564

観光ガイド

経済 社会 環境

中尊寺や毛越寺でのガイドのほか、平泉町内の史跡等をめぐるガイドも可能です。

■平泉町観光ガイド事務所
[受付]1～50名
[所要]要相談
[料金]人数・コースにより異なる
[要予約]0191-46-4203

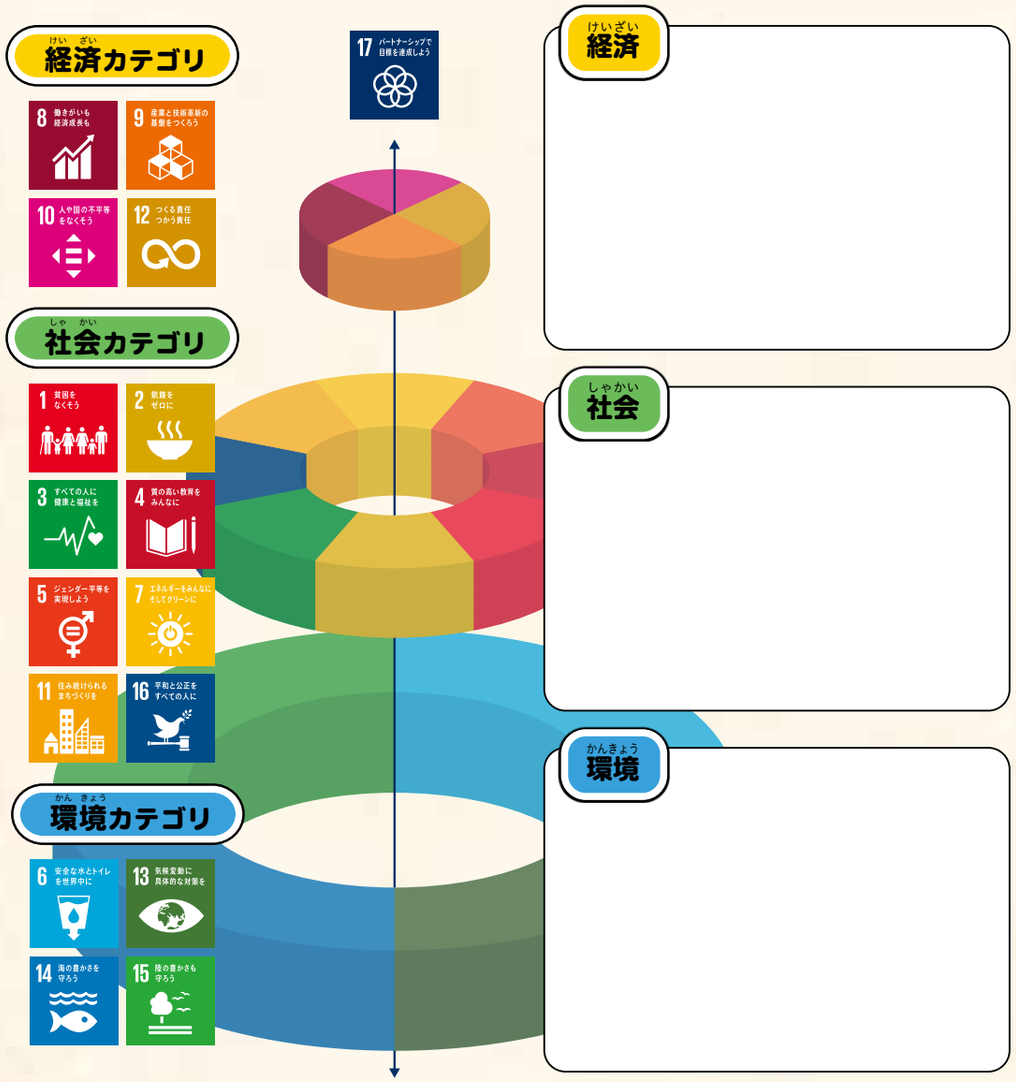
■古都ひらいずみガイドの会
[受付]1～20名　[所要]2時間
[料金]基本料金3,500円(2時間を超える場合1時間毎に1,000円)※ガイドつき
[要予約]0191-46-5710

◎内容は令和4年6月現在のものです。予告なく変更となる場合もございますので、詳細はお問い合わせください。

ステップ3 まとめ学習

平泉の現地学習を終えて、分かったことや感じたことをまとめてみましょう。

6〜7ページの「事前学習」で選んだ探究テーマについて、平泉で調べたり、見つけたりした事がらやキーワードを書き出してみよう。



経済

社会

環境

書き出した事がらやキーワードが、SDGsの17の目標のうち、どの目標とどのような関係があるかまとめてみよう。

平泉で見つけた魅力を伝えよう

平泉の町を実際にめぐり、出会った物事や面白かったこと、まちの工夫や特徴などについて、自由に考えてみましょう。

平泉で興味を持ったこと、伝えたい平泉の魅力。

上の事がらのどんな部分に興味をひかれましたか。

今回わからなかったこと、もっと調べてみたいことがあったら書いてみよう。

ステップ4 発展

平泉で学んだことを元に、自分たちのまちの魅力について考えてみましょう。
自分たちが住んでいる「(まちのなまえ)」の特徴や魅力について、事がらやキーワードを書き出してみよう。

書き出した事がらやキーワードが、SDGsの17の目標のうち、どの目標とどのような関係があるかまとめてみよう。
平泉町と似ているところはどんなところか、違うところはどんなところか考えてみよう。

「　　」で自慢できるところ。

「　　」の問題や、課題だと思うところ。

「　　」で、自分が問題の解決に関われそうなところ。

知ることや考えることが、SDGsの第一歩！
自分に何ができるか考えてみよう。

SDGs 17の目標

【目標1】貧困をなくそう

あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。

【目標2】飢餓をゼロに

飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。

【目標3】すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。

【目標4】質の高い教育をみんなに

すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。

【目標5】ジェンダー平等を実現しよう

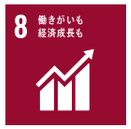
ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。

【目標6】安全な水とトイレを世界中に

すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。

【目標7】エネルギーをみんなにそしてクリーンに

すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。



【目標8】働きがいも経済成長も

包摂的かつ持続可能な経済成長、及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する。

【目標9】産業と技術革新の基盤をつくろう

強靭なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進、及びイノベーションの推進を図る。

【目標10】人や国の不平等をなくそう

各国内及び各国間の不平等を是正する。

【目標11】住み続けられるまちづくりを

包摂的で安全かつ強靭で持続可能な都市及び人間居住を実現する。

【目標12】つくる責任つかう責任

持続可能な生産消費形態を確保する。

【目標13】気候変動に具体的な対策を

気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。

【目標14】海の豊かさも守ろう

持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。

【目標15】陸の豊かさも守ろう

陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。

【目標16】平和と公正をすべての人に

持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度(誰一人取り残されることなく、世界の構成員として一人ひとりが社会のシステムに参画できること)を構築する。

【目標17】パートナーシップで目標を達成しよう

持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

きよひらくん

きよひらくんは、平泉を築いた藤原三代の
初代清衡公をモチーフにしたキャラクターです。
二度の戦乱を乗り越え、
みんなが仲良く暮らせる平和な都「ひらいずみ」を
築き上げた心優しいヒーローです！

SDGsで探究する 世界遺産 平泉 ―平泉町教育旅行ワークブック―

発 行 元 ● 平泉観光推進実行委員会

問合せ先 ● ［事務局］平泉町役場観光商工課
〒029-4192 岩手県西磐井郡平泉町平泉字志羅山45-2
TEL：0191-46-5572／FAX：0191-46-3080

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C103798